

新着本紹介

- 一般書
- 児童書



- 墨のゆらめき／三浦 しをん(著)／新潮社刊
- メメンとモリ／ヨシタケ シンスケ(著)／KADOKAWA
- 鈍色幻視行／恩田 陸(著)／集英社



- おきにいのしろいドレスをきてレストランにいきました／渡辺 朋(作)／高島 那生(絵)／童心社
- 絵本はたらく細胞5 身近な病気とケガ かげとたんこぶのひみつ／清水 茜(原作)／牧村 久実(作)／講談社
- そらまめくんのありがと／なかや みわ(さく)／小学館

第69回青少年読書感想文全国コンクール課題図書紹介(抜粋)

- 小学校低学年の部
- それで、いい！(磯 みゆき(作)、はたこうしろう(絵))
 - けんかのたね(ラッセル・ホーバン(作)、小宮 由(訳)、大野 八生(絵))
 - うまれてくるよ海のなか(高久 至(しゃしん)、かんちく たかこ(ぶん))
- 小学校中学年の部
- 給食室のいちにち(大塚 菜生(文)、イシヤマ アズサ(絵))
 - ライスボールとみそ蔵と(横田 明子(作)、塚越 文雄(絵))
 - 秘密の大作戦！フードバンクどろぼうをつかまえる！(オンジャリQ・ラウフ(著)、千葉 茂樹(訳)、スギヤマ カナヨ(絵))
- 小学校高学年の部
- ふたりのえびす(高森 美由紀(作))
 - 5番レーン(ウン・ソホル(作)、ノ・インギョン(絵)、すんみ(訳))
 - 魔女だったかもしれないわたし(エル・マクニコル(著)、櫛田 理絵(訳))
- 中学校の部
- スクラッチ(歌代 朔(作))
 - アップステージ：シャイなわたしが舞台に立つまで(ダイアナ・ハーモン・アシャー(作)、武富 博子(訳))
- 高等学校の部
- ラブカは静かに弓を持つ(安塚 美緒(著))
 - タガヤセ！日本：「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます(白石 優生(著))



市立図書館 72-9254
ホームページ
https://www.city.makurazaki.lg.jp/site/library/
★開館時間 9:30～18:00

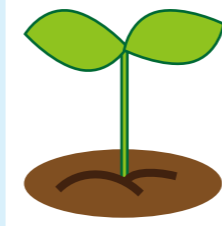
カレンダー 8月10日～9月9日

日	月	火	水	木	金	土
				8月	10	11
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	9月	1
3	4	5	6	7	8	9

- 休館日
- おはなしのへや 午後3時～(絵本と紙芝居の読み聞かせ)



読み聞かせボランティアグループ連絡会は、市内7つの読み聞かせボランティアグループで構成され、スキルアップを目指して、情報交換や研修を行っています。



みんなで育てよう 男女共同参画の芽

Gender equality

このコーナーでは、男女共同参画社会の推進に向けて、男女共同参画に関するさまざまな情報を隔月で発信していきます。今年度は、「第3次枕崎市男女共同参画基本計画」の「計画の評価指標」に基づき、男女共同参画社会の形成につながるさまざまな目標について考えていきます。

「男女共同参画と防災」について

○**固定的性別役割分担意識による影響**
「男性は仕事、女性は家庭」といった性別を理由とした役割分担意識は、いまだ根強い状況にあり、災害が発生するとその傾向が顕著になります。女性が炊き出しなどのケア的役割に追われ続ける一方、男性は仕事や家庭の経済的責任の面などで心身ともに追い込まれる傾向にあります。仕事をする女性・介護や育児を担う男性も増加しており、そのような傾向を踏まえた災害対応の体制づくりや役割分担が必要です。

R4(実績)	R10(目標)
7.7%	30%

○**防災会議委員における女性の割合**
自主防災組織や自治会など、地域活動の場であらゆる方々が意思決定へ参画できているでしょうか？
大規模な災害が起きた場合、男性と女性で受ける影響やニーズが異なり、きめ細かく対応していく必要があります。さまざまな背景を持つ人々が意思決定の場にいることで、多様なニーズを避難所の運営に反映することが出来ます。

○**自主防災組織**
本市では68の公民館で67の自主防災組織が結成されています。災害発生時だけでなく、日頃から防災活動を地域で行っておくことで、大規模な災害が発生したときに互いが助け合い、被害の拡大を防ぐことができます。性別や立場を問わず地域のさまざまな方で協力し、災害に強い地域づくりを目指して活動していきましょう。

自主防災組織の平常時の活動

- 防災知識の普及：防災訓練や講習会を通じて防災知識の普及に努める。
- 家族で防災点検(または防災会議)：各家庭で災害時の安全対策を話し合い、点検、整備を行う。
- 防災訓練の実施：いざという時のため日頃から訓練を行い防災活動に必要な知識や技術を習得する。

○**男女共同参画の視点での防災訓練等の実施回数**
令和4年度は、中止となった市総合防災訓練の代わりに、今年2月5日に別府地区で防災研修会を開催し、自主防災組織の必要性や男女共同参画の視点からみる避難所運営のあり方などを学習しました。

R4(実績)	R10(目標)
1回	年1回以上

令和5年度は、6月25日に平田町自主防災会の自主訓練が実施されました。避難の際に支援が必要な方に対し、自主防災組織の方が声をかけながら妙見センターへの避難を行い、その後鹿児島地方気象台とNPO法人アユダールの方々から気象や災害対策などについてのお話がありました。会場では簡易ベッドや簡易トイレなども展示され、避難した時に実際に使うものを確認しました。



防災掲示板

自然災害に備える(情報収集編2)

さまざまな自然災害が起きる今の時代、災害から命を守るために必要な情報を得る方法を確認しておきましょう。市が発信する防災情報以外にも、スマートフォンに天気予報アプリや防災アプリを入れて、最新の情報を取得しましょう。また、避難をする際に避難所の情報を取得できるVACAN(バカン)というサービスがあり、避難所の開設状況や混雑状況が分かりやすく地図上に表示されます。サービスの利用方法は、二次元コードを読み込むと表示されます。もしもに備えて、情報を得るための方法を確認しておきましょう。



問合せ 総務課危機管理対策係 TEL76-1086

環境・ごみ減量・動物愛護などに関する情報を発信するコーナーです。

今月のテーマ



「COOL CHOICE(クールチョイス)」とは、地球温暖化防止のためCO₂の排出を抑えるだけでなく、節約や健康にもつながる「賢い選択」をしようという取り組みです。

夏におすすめの「COOL CHOICE」
夏野菜を食べよう
夏野菜に豊富に含まれるカリウムには、利尿作用があり、体にこもった熱を排出し、体温を下げる効果があります。同時に水分やビタミン、ミネラルも補給でき、夏バテ防止にもぴったりです。また、地元で採れた食材を選べば輸送距離が短い分CO₂排出量が抑えられます。旬の味を楽しみつつ「COOL CHOICE」してみましょう。

問合せ 市民生活課環境整備係 TEL76-1097



健康づくり、生活習慣病予防、介護予防等に関する情報をお知らせします。

2人に1人はがんになる時代
早期発見のカギは定期検診
がんは現在、2人に1人が生涯において一度はかかる病気だと推計されており、30年近く日本の死因第一位となっています。本市においては、がんの標準化死亡比は男女とも全国平均を上回っている状況です。医療の進歩で、がんは早期発見・治療ができれば治る病気となりましたが、早期がんは無症状であることが多く、早期発見の力には定期的ながん検診を受けることです。実際、がん検診の受診率が70%を超えているアメリカでは、がんによる死亡率が減少してきています。しかし、本市のがん検診受診率は約10%程度なのが現状です。
健康な体を維持するには定期的なチェックが必要で、1年のうち少しの時間

問を、自分の健康のために使ってみませんか。検診会場の感染対策についても徹底していますので、ぜひ受診してください。

○**セレクト健診**
検診内容 特定健診、長寿健診、胃がん検診・腹部超音波検診・肺がん検診・大腸がん検診・前立腺がん検診・肝炎ウイルス検診・骨粗しょう症検診
※大腸がん検診を受診される方は、検診の3日前までに市役所健康課または健康センターに検査キットを受け取りにきてください。

実施日 9月21日(木)、22日(金)
受付時間 午前8時～10時
健診会場 南薩地域地場産業振興センター
※対象者には5月に個別通知済みです。

○**女性がん検診**
検診内容 子宮頸がん検診、乳がん検診
実施日 10月5日(木)～7日(土)、10月19日(木)～21日(土)
検診会場 健康センター
※女性がん検診は完全予約制です。対象者には、8月中旬に個別通知します。

■**問合せ** 健康センター TEL7